



刊夕 日八十月三
日刊 日曜日
第一版 二五頁
第二版 二五頁
第三版 二五頁
第四版 二五頁
第五版 二五頁
第六版 二五頁
第七版 二五頁
第八版 二五頁
第九版 二五頁
第十版 二五頁
第十一版 二五頁
第十二版 二五頁
第十三版 二五頁
第十四版 二五頁
第十五版 二五頁
第十六版 二五頁
第十七版 二五頁
第十八版 二五頁
第十九版 二五頁
第二十版 二五頁

河川改修繼續の 十四年度計劃打合

夏井、新川、蛭田三河川の
總工費廿六萬圓につき

石城郡下の河川改修繼續工事
昭和十四年度の計劃に關し縣
土木課から昨十七日松浦技師
出張打合せ中である同工事は
總工費四十萬圓を昭和十六年
まで七萬圓づゝ最終十七年
五萬圓の蛭田川に於ける明年
度は常磐鐵橋下流の五百五
十米及び夏井川改修の繼續
道小野新町平線に架かる平
地内磐城橋の上下流一キロの
十二萬圓並びに新川の改修繼
續下流尾子橋に至る上流八百
米の七萬圓を合せる二十六萬
圓であるが時局的影響を受

滿州國立大學へ 磐中合格二名

本縣に於て九名
滿州新京の國立大學工學技術
員養成所志願者は磐中卒業か
ら五名あつたが内左記二名合
格し本縣からは安達、安積、著
多方その他から七名の計九名
に補欠三名である

▲平市胡澤澤五七眞野次郎
(土木科)同市田町五高橋善
雄(應用化學科)

明十九日の夜半迄 出馬なくば無投票

豫想通り驚氏の獨舞台

總代人の補選

平麻民金庫では第一區總代人
馬目雅治氏の死亡による補欠
選挙を來る二十二日午後一時
同席に於て執行する

神風丸に感狀

小名濱の軍用船
小名濱町小野嶋一郎氏所有船
神風丸は軍用船として昨年來
中支沿岸に行動中であるが先
頃の冷水作業に當り船長林傳
氏外乗員一同披掛の功を上げ

石城郡の縣議補欠選挙は來る
廿六日の投票日に民政派の
獨り舞台で推された同黨郡部
會長鷺澤清氏(空)が去る十六
日正式出馬をなし事務所を賑
つてゐるが時局轉選民を擧
げて無益な競争を好まれてゐ
ない希望通り残るところ一週
日餘に迫るも他に出馬の聲な
く一週間前までの立候補届出
が愈々明十九日夜半を以て期
間が切れるので現在の模様で
は豫期された如く投票なしの
當選であらうと

支那單語
十五分のことは一割で
イーコー、一分はイー
フエン、一秒はイーミ
アオ、一昨年は前年で
チエンニエン、昨年は
去年でチニエン、明
年はミンニエンと唱ふ

北目町通の換線に 好問側のみが反對

延長百メートルの三十余戸
承諾せぬ理由が解らぬ

夏井川改修で架換えられる磐
城橋の位置變更から平市内北
目町通り縣道小野新町平線
西部に換線する新道開鑿は市
内の北目及び下平窪の關係地
主全部の承諾を得たが中間に
突入する好問村川中子分の延
長百メートル人家三十餘戸の
北目と下平窪市民の所有す
る土地家屋の承諾を除く他の
一同が同意されない爲め折衝
中であるが好問村民の希望す
るところは民家の裏を通る新
道を舊道に沿ふて住家の前を
と踏るものゝ如くなるも一
トを妨ぐる此の要求は到底容
れてゐる

二勇士の町葬

廿四日公會堂で
縣神職會石城支部では今次の
事變に於て名譽の戦歿された

職業紹介所要覽

平職業紹介所では同所の事業
研究協議されてゐるが草案の
を一覧瞭然たらしむべく要覽
の編纂を計畫し目下立澤所長
以下幹部級によつて右作業を

小名商港に尙一步 二期工事促進運動

防波堤築設の不充分から
風波を避くるに足らず

小名商港は東北屈指の修築商
港であるが初期計畫設計を經
費關係で縮小された防波堤築
設の不充分から風波を避くる
に足らず暴風の際に港内波高
くして船舶を奔弄し此の場
合寧ろ港外に逃ぐるを安全と
される矛盾な實狀に昨年暮の
暴風には港内漁船十數隻を沈
没せる慘事を出だしたる十一
日夜の風波に於てまた漁船一
隻を沈没せる等地元船の不安
は勿論そのために回船を激減
する不利甚大なので尙一步
の進めて安全港とな
すべく第二期工事促進の運動
を切望されてゐたが來る二十
二日町議及び漁業組合並びに
町當局相携へて上京主務省に
次第を陳情すると

井上氏時計寄附

平市五丁目井上貞次郎氏は明
十九日落成式を舉行する同町
巡査派出所の新設に備品とし
て掛時計一個を寄附した

湯本國婦幹部會

石城郡湯本町國婦幹部會では
昨十七日表町三區駐在所前新
瀧に幹部會を開き來る四月中
に總會を開催する打合せ其の
際に行ふ團長選挙その他につ
き協議をなした

夫婦喧嘩で飛出 した妻の搜索願

宮城縣石の巻市新町天津喜平
妻かめ(三)は去月八日夫婦
喧嘩をなして家出相馬郡中村
町の料理店木村しも方へ「夫
が死んだので嫁ぎに來た」と
稱し住み込みとしたが拒絶
されてその後石城地方に流れ
た形跡あり或は料理店に潜伏
してゐるのでないかと今十八
日夫から平窪に捜索方願出た

湯本の定期種痘

石城郡湯本町第一期種痘は本
年悪性感冒流行した爲め約一
ヶ月遅れた來る二十八日から
四月五日まで町内五ヶ所に分
けて施行すると

田町歩から會

平市田町青年團体育部では
「歩かう會」を組織し來る二十
日朝七時四十分平窪發で勿來
驛後徒歩で勿來の驛から平
瀧及び大津を経て岡本まで最
寄り各神社に皇軍の武運長久
を祈願し岡本驛から汽車で歸
平の筈だが参加數十名に達す
る由

何事も厭はず 大使命の貫徹に

拜啓、春暖の候
と追々相成ゆく
頃御地も定めし
残雪が序々に消
えゆく朝夕過ぎ易くなりゆ
くものと拜察致します、御
皆々様には益御清榮の段迄
察致し大慶至極に存じ上げ
ます、北支の地も嚴寒の候
既に過ぎ初春の陽光の麗か
に照りはえる頃であります
陳者小生こと平常陣中の多
忙とは云へながら長い間御

軍事景氣から 工女さん拂底

軍需景氣の旺盛から纖維工業
その他著しい事業勃興で工
女の需要を激増したる各工場
諸會社では其の雇傭に大奮べ
で居り現在平職業紹介所には
明石、彦根の紡績工場及び東
京市行政學會の印刷工女その
他より相當多量の求人申込み
に接してゐるが女子は地方の
需要にも拂底してゐる現状な

期戦の折柄後は物心容易
ならざる御骨折のことと存
じます、何卒この上とも
に御奮闘御活躍のほどを戦線
にある私共は感謝しながら
重ねて御頼み申し上げます
小生等も一意専心御奉公の
誠をつくし大使命の貫徹を
期すべく何事も厭はず
覺悟です、遙かに皆々様の
御健勝を御祈り致し右簡單
ながら御無沙汰の御詫をか
ねて御禮申し上げます、敬具

銀紙と銅貨献金

平市五丁目アイスクリーム
吉田屋では店員等が貯めた煙
草の銀紙二百枚及び一錢づ
貯つた銅貨九十六錢を國防費
に献すべく市役所に寄託

高級アルバム

↓感の表紙です
↓型に新し味
↓装訂と一日の長持
種類豊富に入荷いたし
ました、御贈答用とし
て、御卒業、御入学の記
念として御利用を、
念として御利用を、
念として御利用を、

文 魁文堂

電話 3-1-3

馬業方面

軍用候補馬に一つの教訓

(5) 大切に扱った馬は戦争の役に立たぬ殊に白微と稱して馬の足に白い斑のあるやつは蹄にも色素が欠乏してゐて白色を呈してゐるが、こんな馬の蹄質は非常に弱く白微は遺傳によるものが多いと云ふことも注目すべきだ、支那に於て支那馬や赤牛を見るに蹄鐵をつけてゐない、しかも飼料は御粗末のものであるが馬力の強弱で見ると却つて支那馬や赤牛の方が耐久力の強いといふ面白い現象を知つた、だから平常の訓練習慣によつて蹄もより以上強く出来てゐると云ふことを考へさせられた、日本の馬は大切に取扱はれ過ぎてゐるのではないかとと思つた、この鍛錬と云ふことは單に蹄のみ要求せられる問題ではなく蹄傷にも結びつけられるのである、殊に歩兵隊の馬は人を乗せてゐれば事足りると云ふのではなく荷物を背負つたり戦いたりしなければならぬだから乗馬、鞍馬、駄馬と云つた分業的のものでなく、いづれの部門にも適するやう平常の訓練が必要となつて來るのである。

今次の事變を契機として軍用馬の改良の必要が叫ばれ、同時に日滿を一体として馬政計畫の樹立を急務とされ、この馬政計畫に根本的な改革を加へるべきであるとして軍部農林省をはじめ各方面に於て協議中であつたが其の結果次

回に述べる諸案が出来た、

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

産科婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

入院隨意 木村病院
病室完備
平市新川町九一 電話一六四番

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話二六九番」

お醤油は ヤマフル

醤油、味噌
たひら正宗
鯨節食料品

舎 山崎合名會社
電話 本営業部 二七〇番
分店 二七番

明治生命警械代理店 山崎與三郎

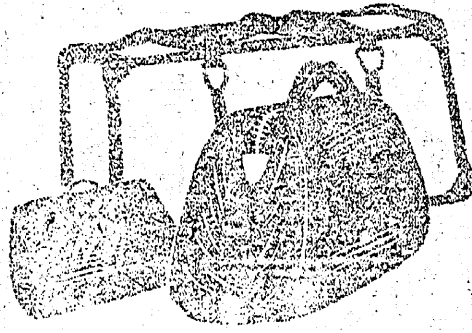
日	月	火	水	木	金	土	日
ランチ	カツ	カツ	カツ	カツ	カツ	カツ	カツ
CA	CA	CA	CA	CA	CA	CA	CA
CA	CA	CA	CA	CA	CA	CA	CA

特にマルトモのランチは材料のおまかせを願つて居るため其の節々のおいしい新鮮な物を御薦め出来たので御華客様から御好評を戴いて居ります。

御来店御召上りの時も御來客様用仕出し等總べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節の材料で美味快適なものを調理進上出来たので之を非常に御好評で御座います。

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ
電話 一三三

カバンと洋品類



眞砂屋 (平市新道前) (電話五六五)

債券、公債
両替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

諸毒下りの大妙藥
安流丸
平野透

專門 皮膚科 泌尿器科 性病科
江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番

新いわき新聞社
一般印物もお引受致します

電話五九二番
に變りました
レストラン サロ
平市銀座街

便利で 日下家政婦會の
經濟な 派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正です
何を任せしてもご安心です
平日白銀町十番地 (電話七二三番)
日下家政婦會
會長 日下すい子
會員同志の御加入(派出なき限に裁縫や)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)